

世界を巡る水中考古学者の  
山船晃太郎先生による講演会



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

教育学部附属  
中等教育学校

# 水中考古学



水中考古学者  
山船晃太郎先生

水中考古学とは何か、どんな研究をしているのか。ロマン溢れる水中考古学の世界をご紹介します。

山船先生HPはこちら  
<https://suichukougogaku.com/>

SNSにて講演情報発信中  
[https://www.instagram.com/geijutsusai\\_tofu/?hl=ja](https://www.instagram.com/geijutsusai_tofu/?hl=ja)



～水中考古学で紐解く  
歴史の謎～

2023年1月29日(日)

13:00～14:30 Zoom配信あり

参加無料・要申し込み

中高生だけでなく、大学生や小学生、一般の方もぜひご参加ください。

定員: Zoom配信 1000名

東大附属学校大教室 150名

お申込み期限: 2023年1月22日(日)

QRコードよりお申込みください→



主催: 東京大学教育学部附属中等教育学校 芸術祭実行委員会







## 講師紹介

### 山船晃太郎(水中考古学者・船舶考古学者)

法政大学文学部史学科を卒業後、船舶考古学における世界最高峰の研究機関であるテキサスA&M大学(Texas A&M University)大学院に留学。同大学院で2012年に修士号を、2016年に博士号を取得。

西洋船(古代・中世・近代)を主たる研究対象とする考古学と歴史学のほか、水中文化遺産の3次元測量(3D Recording)と沈没船の復元構築(Ship Reconstruction)を専門とする。現在、世界各国の様々な研究機関から依頼を受け、水中遺跡の発掘調査や学術研究の支援を行っている。

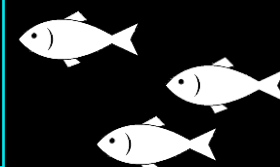


### 山船先生からのメッセージ

発掘された人類の足跡、つまり遺跡から歴史の謎を紐解くのが【考古学】という学問です。皆さんは、実は世界中の海の底にも膨大な数の遺跡が眠っている事をご存知でしょうか？

世界遺産を取り仕切る国連の教育機関UNESCOが出した指標では、世界中の海には100年以上前に沈んだ歴史的価値のある沈没船が300万隻以上あるとしています。この沈没船遺跡を調べることによって、当時の文明間の交易の様子や、当時の最先端の技術を積み込まれて造られた船の遺跡から、その文明の科学技術水準を理解するのが【水中考古学】と呼ばれる学問です。

今回は私が携わっている地中海の古代船と、カリブ海の大航海時代の沈没船遺跡から、その水中発掘の様子と水中考古学の研究を紹介します。海洋ロマン溢れる水中考古学の世界を一緒に楽しみましょう。



## 諸注意

講演の撮影、録画、録音は固くお断り致します。  
Zoom配信でご聴講の方は、事前にアプリケーションのダウンロードをお願い致します。  
会場でご聴講の際は、原則途中退場はできませんのでご了承ください。また、公共交通機関を利用してのご来場をお願い致します。

会場：東京大学教育学部附属中等教育学校 本校舎二階 大教室  
〒164-8654 東京都中野区南台1丁目15-1

ご不明な点がございましたら、[tofu.artcrossroad@gmail.com](mailto:tofu.artcrossroad@gmail.com)または芸術祭実行委員までご連絡ください。

※お電話でのご質問は受け付けておりませんのでご了承ください。